

(第3種郵便物認可)



作り手と住民触れ合い

南木曾 なぎのこマルシェ開幕

手芸品の販売やワークショップなどを体験する「なぎのこマルシェ」が二十八日、南木曾町の旧妻籠小学校で始まった。二十九日まで、町地域おこし協力隊の杉野明日香さん(三三)と伊藤恵理さん(三三)が、手芸品や料理などの作り手らと住民が交流できるようと初めて企画。町内や周辺市

自分たちで仕入れた商品を販売する高校生
南木曾町の旧妻籠小で

町村から三十四団体が参加した。

初日は二十二の店が訪れた人たちを楽しませた。町内にある蘇南高校の生徒が出店した「チャレンジショップ」では、経営ビジネス系列の生徒たちが販売実習として参加。菓子パンや生八つ橋、アイスクリームなどを仕入れた。テーブルに商品を並べ、訪れた人へ試食を勧めるなどして、販売も体験した。

ポップコーンを担当した同校二年の古瀬龍斗さん(二〇)は「小さい子が喜んでくれた。お客さんと接する仕事に就きたいと、あらため

て感じた」と話し、二年の金子結菜さん(二〇)は「見積もりを出したり、仕入れで業者に電話して、こちらの意図を伝えたりするのに苦労した」と大変さを振り返っていた。

木曾青峰高校(木曾町)の美術部員が開いた絵の具遊びの体験コーナーでは、子どもたちが真剣なまなざしで石に色を塗るなどして楽しんでいた。

(桜井祐二)